

事業計画書

事業名	NUMAZU DESIGN CENTER
実施場所	沼津市大手町 4-5-12 うるわしビル 2F（新仲見世商店街内）
実施予定期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>事業の目的</p> <p>地域の「クリエイティブ発信基地」として、グラフィックデザイナーを中心としたクリエイティブ職によるシェアオフィス事業を軸に、NUMAZU DESIGN CENTER 入居者同士による新たなデザインプロジェクトの創出、NUMAZU DESIGN CENTER 利用者と地域が質の高いデザイン事案でつながる「まちのデザイン窓口」など、まちに開いたオープンでクリエイティブな場を作ります。</p> <p>NUMAZU DESIGN CENTER は、デザインの力をまちに波及させ、まち並みがフレッシュに生まれ変わるための沼津のためのキーコンテンツとなります。</p> <p>施設の活用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グラフィックデザイナーを中心としたクリエイティブ系シェアオフィス ・ 利用者同士の交流スペース ・ デザイン関連のイベント開催 ・ 地域ブランド（NUMAZU×DESIGN PROJECT）開発・発信基地 ・ まちのデザイン窓口 ・ デザインギャラリー <p>運営について</p> <p>申請者を含むシェアオフィス入居者が自発的に施設を活用。</p> <p>毎日のオフィス利用、交流会やイベントの開催、相互の案件共有や新規プロジェクト発足など。</p> <p>*スタート時 3 名、施設オープン後追加募集で常時最大 6 名、時間利用・フリーアドレス利用者は常時受け付ける。関係メンバーを増やしながら、施設活性の維持・展開を図ります。</p> <p>スケジュール</p> <p>平成 30 年 4 月～ 関係者打合せ、設計 (NUMAZU×DESIGN PROJECT #1「NUMAZU CHAIR」制作開始)</p> <p>平成 30 年 6 月～ 改修工事着工～</p> <p>平成 30 年 9 月～ シェアオフィス オープン オープニングデザインイベント開催 (NUMAZU×DESIGN PROJECT #1「NUMAZU CHAIR」完成プロモーション)</p>

◎事業効果

※事業の効果を記載して下さい。

ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。

・初年度、シェアオフィスのフルタイム利用者（入居者）とスポット利用者で10名程度のクリエイティブ職人材を集め、交流をはかりながらそれぞれのビジネスを活性化。地域でデザイン案件の仕事を分担することができます。

・新規デザインプロジェクトとして、沼津産の間伐材などを利用した什器等の制作・販売を行う。個人、公共空間で使用してもらえよう、プロモーションと共に、沼津産木材の宣伝、NUMAZU DESIGN CENTERの認知度も合わせて高めることを狙いとします。第一弾プロダクトとして「NUMAZU CHAIR」を予定しています。年間50脚程度を流通させたいと考えています。

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

<p>公益性</p>	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。 沼津市近郊に点在しているクリエイティブ職の個人が集まることで、今までなかったデザイナー相互の交流や情報交換ができ、沼津のクリエイティブシーンを活性化の場となりえます。また、オープンマインドなまちのデザイン窓口としての役割から、デザインの力で地域に貢献できると考えています。</p>
<p>発展性</p>	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 デザイナー同士が協力しあえる空間であるため、これまで出来なかった大きな案件の受注が可能になったり、より質の高い成果物をまちに生み出すことができます。また、デザイン関連イベントやデザインプロジェクトを広く展開することで、新たなクリエイティブ職のつながり作りにも期待できます。例えば、都心でデザイン業をしていた人材のIターンUターンのきっかけとしてのオフィス需要も考えられます。地域のデザイン力の底上げが見込まれます。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。 専門性を極めたデザイナーなどがデザインプロジェクトとして、地域発の質の高いプロダクトを企画。うまく活用できていなかった地域資源を使いこなしたり、プロモーションしたり、ここでしかできないデザイン案件の創出も計画しています。（例：NUMAZU CHAIR）</p>
<p>必要性</p>	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。 駅前、まちの中心部など、沼津の顔とも言える場所が未だ時代遅れの景観のままであったり、クオリティの低い制作物が新たに作られたりする現状であるため、デザインの力をまちに生かし、特にこれからのまちづくりを担う若い感覚を持った事業者に対するデザイン提案は不可欠であると考えています。安易なデザイン発注をなくし、美しいまち並みづくりやプロモーションの一助として、まちのデザインの窓口となる当施設を開設することは、これからの沼津にとって必要不可欠であります。</p>

<p style="text-align: center;">先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。</p> <p>沼津市内で専門分野に特化したシェアオフィスとしては初の立ち上げとなります。クリエイティブ職に特化することで、専門性をさらに極め、個人の技術の向上にもつながります。</p>
<p style="text-align: center;">継続性</p>	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。</p> <p>申請者を含むシェアオフィス入居者は、毎日各々のオフィスとして利用する為、継続性があります。施設利用者数をコンスタントに確保できるよう、NUMAZU DESIGN CENTER のブランディングと、web・SNS などを使った広報活動につとめます。</p>

◎特に高い公益性を有することの説明

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。

NUMAZU DESIGN CENTER は、新仲見世商店街内で 10 年以上使われていなかった空間をリノベーションして開設します。新仲見世商店街は、近年人通りもまばらになり、賑わいとは程遠く、時代に取り残された印象も否めませんが、リノベーションまちづくり等、新たなまちづくりの施策として様々な試みがなされている場所でもあります。

そこに、新しいまちづくりの象徴として NUMAZU DESIGN CENTER を立ち上げることは、地域にとって非常に重要な足がかりとなり、まちづくりの追い風にもなり得ると考えています。

また、施設工事の際、解体や壁塗りなど専門性が問われない作業について、職人さんなどを講師に迎えた DIY ワークショップ等を開催することで、多くの人に関わりを持ってもらいながら施設を作り上げます。